

飯舘村

明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさとを目指して





村章：外円は村民の和を、半円は広大な村土を表し、中心は山林資源と力強い発展を示したものです。それらを踏まえ、全体では、限りなく伸びゆく飯舘村の未来を象徴しています。



村の木・アカマツ



村の花・ヤマユリ



村の鳥・ウグイス

人口

世帯数

令和3年9月1日現在
5,062人 (1,821世帯)

住民基本台帳上の人口及び世帯数です。

震災の直前にあたる平成23年2月末現在の人口は6,509人、世帯数は1,958世帯だった。避難先では、住宅の事情や通勤通学の都合などから、多くの世帯が複数に分離して生活せざるを得なくなった。

平成29年3月末の避難指示解除(長泥地区を除く)後は、村内の自宅に戻った人、避難先に留まって暮らす人、両方を行き来して生活する人など、暮らし方が多様になり、その形は今もゆるやかに変化を続けている。また、避難指示解除後に定住を目的として村に移住した人は令和5年2月現在で140人となっている。

居住地

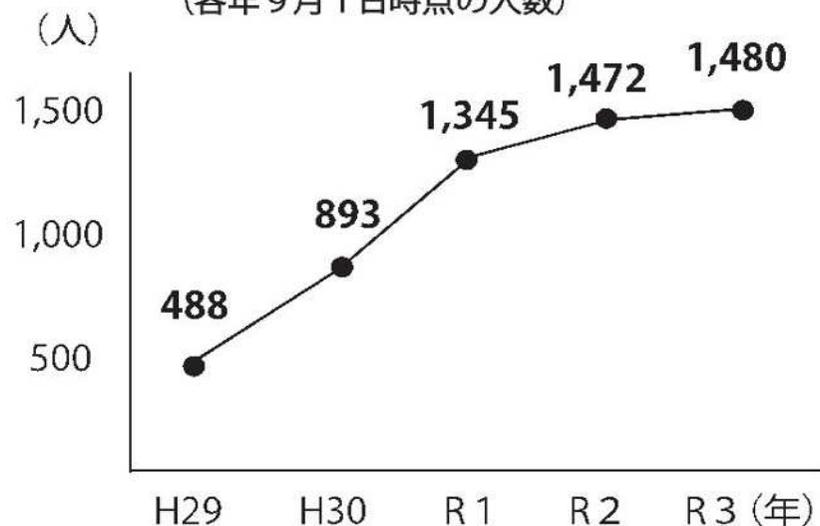
令和3年9月1日現在
(届け出による集計)



村内居住者

(定住を目的とした移住者も含みます)

避難指示解除後の推移
(各年9月1日時点の人数)





震災前の飯舘村



飯舘村は、福島県の地域区分から「浜通り地域」に属し、県の東北部、阿武隈山系北部の丘陵地帯に広がる標高220 m～600 mに生活基盤をもつ農山村である。高い山や険しい谷はほとんどなく、比較的平坦な山が連なる高原的地形となっている。

年平均気温10°C前後、年間降水量1,300mm、気候は比較的夏は涼しく、冬は降雪が少ないものの、氷点下15°C以下になる日も年に数日あるなど、寒さが厳しい地域である。

震災前の飯舘村

1 基本理念

豊さの尺度は、外から与えられるものではなく自分自身の中にあることを理念に掲げた。都市の後追いではない、身の回りの豊かさに着目し、魅力を掘り起こすことによって、自らの力で、豊かな暮らしと地域社会を築き上げる内発的发展を目指した。

震災前の飯舘村

2 村民主体の村づくり 飯舘村第3次総合振興計画（昭和58年策定）、飯舘村第4次総合振興計画（平成6年策定）においては、村民のあらゆる階層から多くの参画によって策定をしている。第5次総合振興計画（平成16年策定）では、5つの部会を設け村民主体の策定を進めるとともに、20行政区それぞれに地区別計画を策定し、地域資源の掘り起こしやコミュニティの育成を進めた。これら住民主体の村づくりは、「平成の合併」にかかる自主・自律の議論ともあいまって住民自治への関心や自治意識の高まりへと繋がった。村では総合計画をはじめとし、村の主要問題の検討についても村民の参画する機会を多く設け、結果として、実行段階においても多くの村民の関わりにより実施されることとなり、村民の村づくりに対する関心、ひいては村の行政運営への参画へと繋がってきた。

震災前の飯舘村

3 地域づくり運動

飯舘村には 20 の行政区があり、行政区を単位とした地域づくり運動を平成 2 年度から実施。地区の主体的な地域づくり事業に対し、一地区あたり 10 年間で 1 千万円を限度として村が補助金を交付している。地域づくり運動を通して、住民の郷土愛や連帯感の醸成が図られることを狙いとするとともに、検討プロセスを通して地区内での新しい担い手の発掘に繋がっている。

震災前の飯舘村

飯舘牛をはじめまでいブランド確立事業を展開



■第一次産業■ 農業の主要作物は、水稲、畜産、野菜、花卉である。村は古くからヤマセによる冷害に悩まされてきたことから、冷害に強い作物として畜産振興（特に和牛の繁殖）に力を注ぎ、「飯舘牛」のブランド化に村を挙げて取り組んできた。また近年は、高冷地の特色を生かした野菜・花卉の振興に力を注ぎ、観光振興を推進している。原子力災害によって長年培われてきた「飯舘牛」のブランドも残念である。

観光関係、建設関係事業所等の生産が伸びる傾向にある。また、近郊圏での購買が年々増加傾向にある。近年都市住



子育てクーポン



花卉販売総額 1 億円突破



震災前の飯館村



震災と原発事故による被災

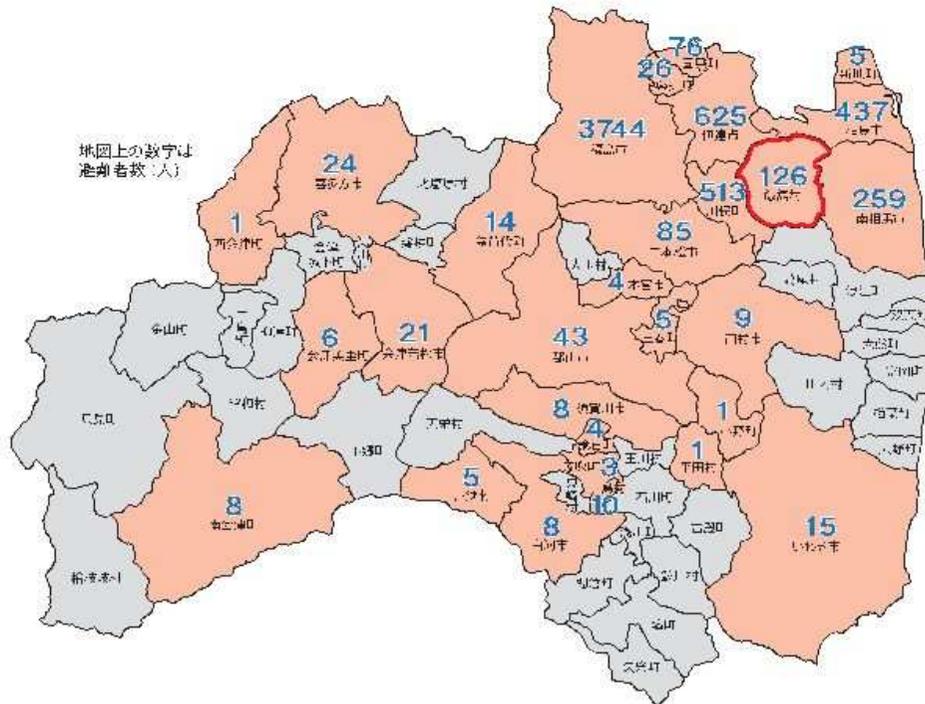
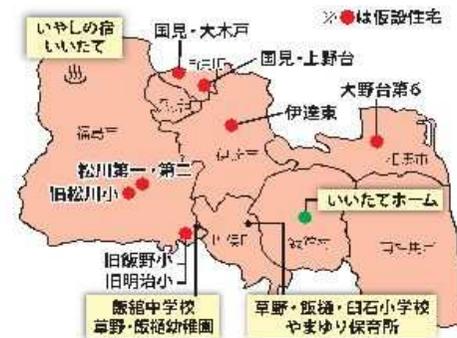
平成 23 年 9 月 1 日現在の村民の状況

1. 現住人口 = 5,984 人
(基数)
(平成 22 年 12 月 1 日現在)
※国勢調査人口に異動世帯数を加算
2. 避難者数 = 6,628 人
(震災当時住んでいた人口に避難者数を加算)
3. 未避難者数 = 19 人(14 世帯)

●県内外の避難状況

・県内	避難人数…5,960 人	避難世帯数…2,509 戸
・県外	避難人数… 536 人	避難世帯数… 295 戸
・国外	避難人数… 4 人	避難世帯数… 2 戸
・いいたてホーム	人数… 107 人	世帯数… 107 戸
・村内	人数… 126 人	世帯数… 121 戸

避難施設位置図



地図上の数字は
避難者数(人)

	施設名	世帯数
1	伊達東応急仮設住宅	75
2	旧飯野小応急仮設住宅	35
3	旧明治小応急仮設住宅	30
4	国見大木戸応急仮設住宅	10
5	国見上野台応急仮設住宅	23
6	松川第一応急仮設住宅	101
7	松川第二応急仮設住宅	98
8	旧松川小応急仮設住宅	42
9	相馬市大野台第 6 仮設住宅	165
	仮設住宅(1~9) 合計	579
10	公的宿舎	209
11	借り上げ住宅(公的宿舎以外)	1,434
12	いいたてホーム	107
	その他施設(10~12) 合計	1,750
	全施設(1~12) 合計	2,329

- 応急仮設住宅の
避難状況
入居世帯数…579戸
入居人数…1,209人
- 県借り上げ住宅(公的
宿舎以外)の避難状況
入居世帯数…1,434戸
入居人数…3,684人
- 公的宿舎の避難状況
入居世帯数…209戸
入居人数…638人

未避難	14
-----	----

(平成 23 年 9 月 1 日現在)

震災と原発事故による被災

停電の中の災害対策本部会議



スクリーニング検査



飯館全村見守り隊を結成



希望者を対象に緊急避難を実施
(栃木県鹿沼市へ)



役場機能を飯野出張所に移転



全村避難となった飯舘村



避難先での敬老会



又コミ新聞を発行



福島市で「村民ふれあい集会」を開催

全村避難となった飯館村



草野・飯樋幼稚園



草野・飯樋・白石小学校



避難先で自前の給食を再開



「ラリーピンポン交流会」を避難先でも継続



飯館中学校（仮設校舎開校式）

飯館中学校開校式



福島市飯野町に復興公営住宅を建設



「いっとき帰宅バス」を運行

全村避難となった飯舘村



仮設住宅自治会が交流行事を開催



福島市に子育て支援センターを開設



仮設住民が大雪で立ち往生の車列に炊き出しをして話題に



仮設住宅の夏祭りで地域と交流

震災を越えて1



いいたて村の道の駅までい館



ふかや風の子広場



ドッグラン「わんこの庭のびのび」



いいたてスポーツ公園



いいたて希望の里学園

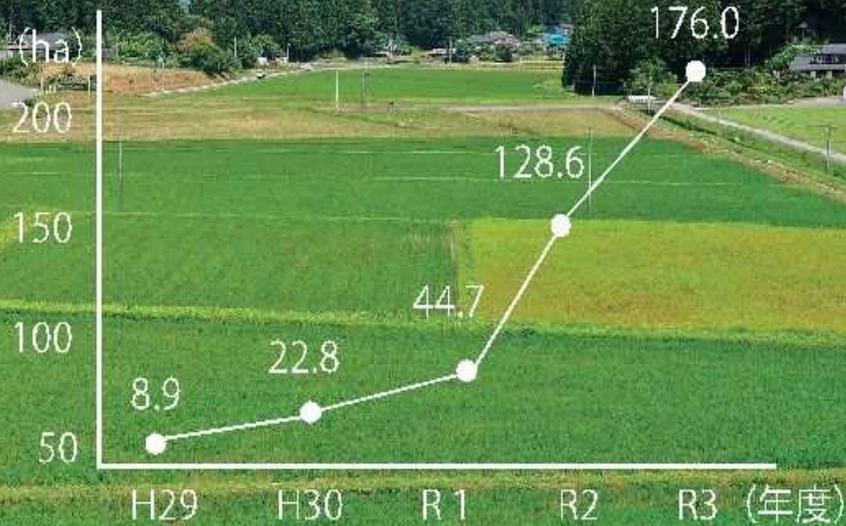


までいの里のこども園

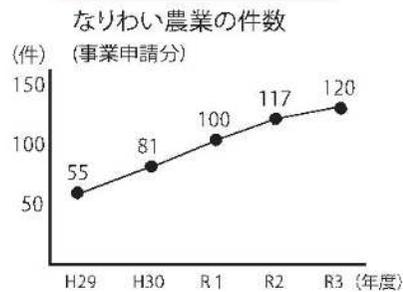
水稲作付

令和3年	主食用	57.7ha
水稲作付け	WCS	48.8ha
	飼料用	69.1ha
	酒米	0.4ha
	合計	176.0ha

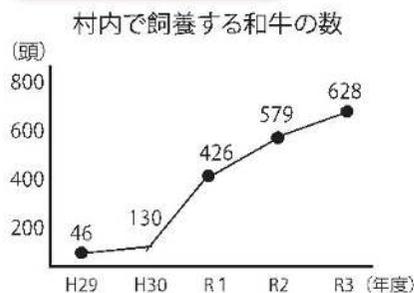
村内水稲作付面積



なりわい農業 件数



和牛の飼養頭数



事業所数

令和3年9月1日現在

村内再開事業所 60事業所

村外再開事業所 45事業所

計105事業所(震災前の80%)

村商工会に加盟する事業所の数。村外で再開している事業所も多くが村内の事業に関わっています。

震災を越えて2

LaKasse (ラカッセ)



あいの沢オートキャンプ場



村カフェ753



はやま湖



工房マートル



ゲストハウス COCODA



彘びす庵



いいたてパークゴルフ場

村政方針 明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと

4つの指標

- 1 次世代・継承
- 2 なりわい
- 3 10年後を見据える
- 4 帰還困難区域

4つの指標と2つの力点を持って施策を進めます

力点2 村の将来への布石

1 生きがいと生業の力強い再生と発展



木質バイオマス発電

ゼロカーボン

自治体DX デジタルトランスフォーメーション

ふくしま田園中核都市圏

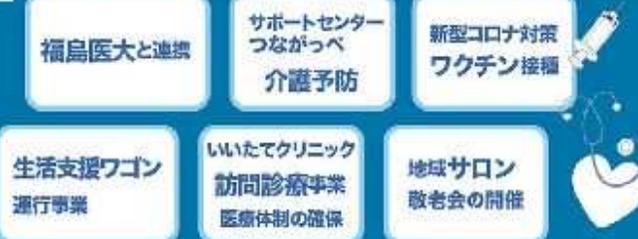
飯館牛 (黒毛和牛)

あぶくまもち

村民の今を支える

力点1

2 健康で生き生きと楽しく暮らせるふるさとづくり



企業消防

災害対策

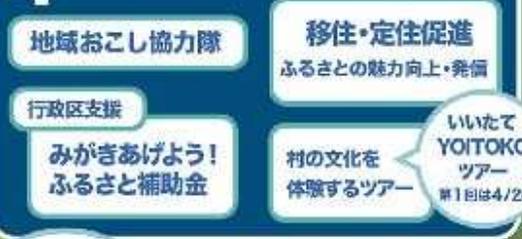
広報

ホームページ

税

買い物支援事業

4 ふるさと資源のフル活用



令和5年春の避難指示解除に向けて

帰還 困難区域

5 生き生きとした学びの場を育む



情報通信技術(ICT)による新しい村づくり



未来への布石

農地の集積と活用



スマート農業の推進



飯館 YOITOKO 発見！ツアー



「あぶくまもち」の特産化



林業の再生



「ふるさとの担い手」の活躍



クロス発電



移住検討者向け「ミチシル旅」



飯館産黒毛和牛の牛肉の販売



地域おこし協力隊



移住サポートセンターを開設



※完成イメージ



木質バイオマス発電事業

未来への布石

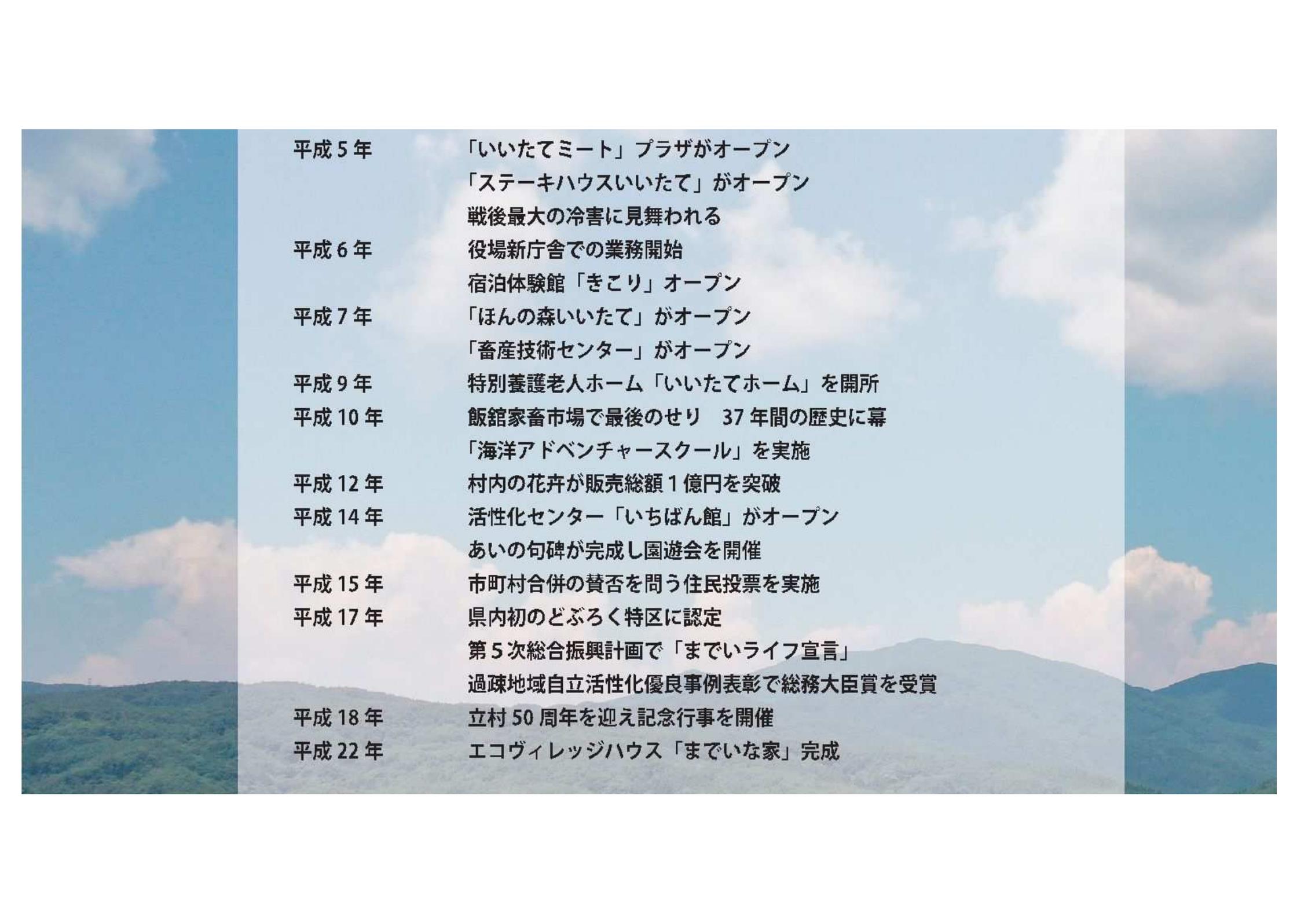


長泥行政区の避難指示解除に向けて



飯舘村の歩み

- | | |
|---------|--|
| 昭和 31 年 | 飯曾・大館 2 村が合併し飯舘村が誕生 |
| 昭和 36 年 | 草野大火で 120 戸を焼失 |
| 昭和 38 年 | 第 1 回「村民体育大会」を開催
「岩部ダム」が完成 |
| 昭和 54 年 | 村民の森「あいの沢」を開園 |
| 昭和 56 年 | 第 1 回「村まつり」を開催 |
| 昭和 60 年 | 第 1 回「村民総合文化祭」を開催 |
| 昭和 61 年 | 第 1 回「新春村民の集い」を開催 |
| 平成元年 | 第 1 回「若妻の翼」を実施 |
| 平成 2 年 | センター地区に「総合グラウンド」が完成 |
| 平成 3 年 | 第 1 回過疎地域活性化優良事例として国土庁長官賞を受賞
計画から 21 年間を要し「真野ダム」が完成 |
| 平成 4 年 | センター地区に球場が完成
「ふくしま駅伝」村の部優勝（以降 10 連覇／最高位は総合 5 位） |
| 平成 5 年 | 「ふくしま駅伝」村の部優勝（以降 10 連覇／最高位は総合 5 位） |

- 
- 平成 5 年 「いいたてミート」プラザがオープン
「ステーキハウスいいたて」がオープン
戦後最大の冷害に見舞われる
- 平成 6 年 役場新庁舎での業務開始
宿泊体験館「きこり」オープン
- 平成 7 年 「ほんの森いいたて」がオープン
「畜産技術センター」がオープン
- 平成 9 年 特別養護老人ホーム「いいたてホーム」を開所
- 平成 10 年 飯館家畜市場で最後のせり 37 年間の歴史に幕
「海洋アドベンチャースクール」を実施
- 平成 12 年 村内の花弁が販売総額 1 億円を突破
- 平成 14 年 活性化センター「いちばん館」がオープン
あいの句碑が完成し園遊会を開催
- 平成 15 年 市町村合併の賛否を問う住民投票を実施
- 平成 17 年 県内初のどぶろく特区に認定
第 5 次総合振興計画で「までいライフ宣言」
過疎地域自立活性化優良事例表彰で総務大臣賞を受賞
- 平成 18 年 立村 50 周年を迎え記念行事を開催
- 平成 22 年 エコヴィレッジハウス「までいな家」完成

平成 23 年

東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）発災

災害対策本部を設置

沿岸地域からの避難者に施設を開放・炊き出し、避難所を設置

計画的避難区域に指定される

川俣町内の校舎・園舎を間借りし学校と幼稚園を再開

「いいたてホーム」など村内 9 事業所の操業継続を国が承認

村役場機能を福島市飯野町に移転 飯野出張所を開設

「未来への翼」事業で中学生が海外研修

平成 24 年

第 1 回「いいたて村民ふれあい集会」を開催

草野・飯樋・白石小学校 仮設校舎開校式

飯舘中学校 仮設校舎開校式

福島市で「いいたて村文化祭」を開催

平成 25 年

秋篠宮ご夫妻が飯舘中学校をご訪問

全国広報コンクールで内閣総理大臣賞を受賞

天皇皇后両陛下が小学校と菊池製作所をご訪問

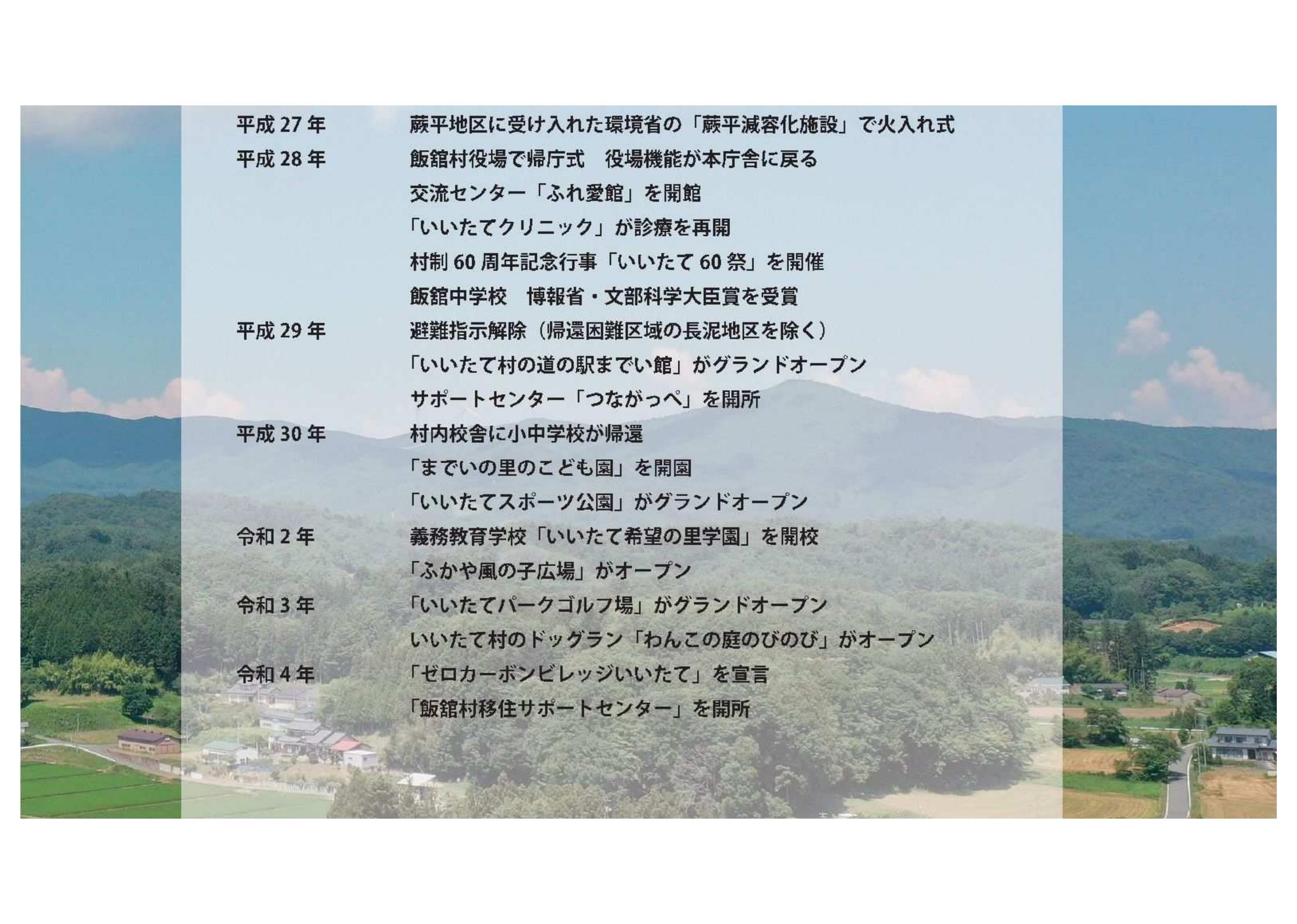
平成 26 年

大雪被害 対策本部を設置

村役場本庁舎開所式 一部機能を戻す

福島市に建設した復興公営住宅「飯野町団地」で入居を開始

いいたて子育て支援センター「すくすく」を福島市に開所

- 
- 平成 27 年 蕨平地区に受け入れた環境省の「蕨平減容化施設」で火入れ式
- 平成 28 年 飯舘村役場で帰庁式 役場機能が本庁舎に戻る
交流センター「ふれ愛館」を開館
「いいたてクリニック」が診療を再開
村制 60 周年記念行事「いいたて 60 祭」を開催
飯舘中学校 博報省・文部科学大臣賞を受賞
- 平成 29 年 避難指示解除（帰還困難区域の長泥地区を除く）
「いいたて村の道の駅までい館」がグランドオープン
サポートセンター「つながっぺ」を開所
- 平成 30 年 村内校舎に小中学校が帰還
「までのりの里のこども園」を開園
「いいたてスポーツ公園」がグランドオープン
- 令和 2 年 義務教育学校「いいたて希望の里学園」を開校
「ふかや風の子広場」がオープン
- 令和 3 年 「いいたてパークゴルフ場」がグランドオープン
いいたて村のドッグラン「わんこの庭のびのび」がオープン
- 令和 4 年 「ゼロカーボンビレッジいいたて」を宣言
「飯舘村移住サポートセンター」を開所



飯舘村 令和4年のプロフィール
令和5年2月発行

飯舘村役場

〒960-1892 福島県相馬郡飯舘村伊丹沢字伊丹沢580番地1 TEL0244-42-1611(代表) FAX0244-42-1601(代表)

健康福祉課(地域活性化センターいちばん館)

〒960-1803 福島県相馬郡飯舘村伊丹沢伊丹沢571

健康係 TEL0244-42-1637 福祉係 TEL0244-42-1633 包括支援センター TEL0244-42-1626

生涯学習課(交流センター「ふれ愛館」)

〒960-1801 福島県相馬郡飯舘村草野字大師堂17 TEL0244-42-0072 FAX0244-42-0860